

## 立命館アジア太平洋大学の学長候補者の公募について(公募要項)

立命館アジア太平洋大学(以下、APU と称します)は、現学長の現任期が 2020 年 12 月 31 日をもって満了するため、次の任期にあたっていただく学長候補者を以下の要領で募集いたします。

### 1. APU の概要

APU は、「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、地元地域や国内外の広範な人々の協力を得て、2000 年 4 月に日本の大分県別府市に開学した私立大学で、今年で創立 20 周年を迎えました。開設以来の様々な取り組みの結果、現在では、おおよそ 6,000 名の学生の半数が約 90 ヶ国・地域から集う留学生で、教員の半数も外国籍という、世界でも極めてユニークなグローバル大学となっています。

国内外でも評価を得つつあり、2014 年度には文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援構想 (SGU) の 37 校の 1 校に採択されました。国際的にも国際経営学部が経営系の学部・大学院の国際認証である AACSB の認証を獲得、アジア太平洋学部は観光学分野の国際認証である tedQual を取得しています。最近もイギリスの高等教育専門誌『タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (Times Higher Education、THE)』が 2020 年 3 月に発表した「世界大学ランキング日本版 2020」で、対象となった 278 校中、総合順位で 21 位となりました。3 年連続で私立大学では西日本で 1 位、全国で 5 位の評価を得ています。

APU では現在、今後 10 年を標榜して APU2030 ビジョンを掲げ、新たな将来構想にとりくむべく、準備を進めています。

今回は、このように歩みを進めている APU の次期学長を公募するものです。

### 2. APU 学長について

APU は、「我々は、21 世紀の来るべき地球社会を展望する時、アジア太平洋地域の平和的で持続可能な発展と、人間と自然、多様な文化の共生が不可欠であると認識する。この認識に立ち、我々は、いまここにアジア太平洋の未来創造に貢献する有為の人材の養成と新たな学問の創造のために立命館アジア太平洋大学を設立する」と宣言しています (立命館アジア太平洋大学開学宣言より)。APU 学長は、その大学の代表となる方で、APU の副学長、学部長および APU 内の主な役職者を任命し、大学運営および教学に関する事項を統括します。

APU を擁する学校法人立命館は、APU および立命館大学の 2 大学、4 附属中学校・高等学校、1 小学校から構成される総合学園です。APU の学長は学校法人立命館の理事の一員となり、学園の総長および理事長を補佐する副総長 (APU 担当) の役職を兼務し、学校法人立命館の執行部として、総合学園全体をけん引する役割も持ちます。

なお、今回公募する APU 学長・副総長 (APU 担当) の任期は、2021 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの 3 年間です。

### 3. 学長決定のプロセス

立命館アジア太平洋大学学長候補者選考委員会により選考された学長候補者は、学校法人立命館の総長が理事長と協議の上、理事会に推薦し、理事会でAPU学長に選任されます。同様の手続きを経ることにより、現学長が再任される可能性もあります。

今回、この立命館アジア太平洋大学学長候補者選考委員会が選考する学長候補者を広く公募するものです。

### 4. 学長に求められる役割

- APUの責任者として、ふさわしいリーダーシップを発揮すること。
- 優秀な学生・教職員を世界各地から集めるために先頭に立って取り組みを進めること。
- APUの教育と研究レベルをさらに高度化させるための指針を示し、その実現に努めること。
- 国内外にAPUのミッション、ビジョン、現状等を積極的に発信し、学生・教職員や校友・保護者・地域・企業・団体など、広範な大学のステークホルダーに対しても、APUのビジョンやミッションを説明し、理解を得ていくなど、APUの広範なネットワーク構築に尽力すること。
- APUの安定的な財政運営に責任を果たすこと。
- 学生、教職員、役職者等とコミュニケーションを図り、一人ひとりの力を最大限に発揮させるとともに、内部統制、法令順守、ハラスメント防止などに向けた体制を整備・強化して、円滑な大学運営に努めること。

### 5. 学長に求める資質

書類選考及び面接等により、学長に求められる資質について総合的に評価します。

- 博士号もしくはそれと同等程度の学術的実績、経験を有すること。
- 英語および日本語の高度な運用能力を有することが望ましい。
- 国内外の大学や企業・NPO・NGOなどの組織において一定年数以上の運営経験があることが望ましい。
- APU開学の精神、歴史、諸事業・計画を深く理解し、APUの発展に寄与する意欲があること。
- 異文化や多様性への深い理解が必要な環境で働いた経験があることが望ましい。
- 時代の変化に対応できる柔軟性と指導力を有すること。

### 6. 処遇等について

(1) 学校法人立命館の各種規程により決定します。

役員手当、通勤手当、住宅手当（または住宅費補助制度）、赴任旅費、赴任手当、個人研究費、賞与、退職金あり。社会保険加入。

(2) APU学長はその職務に専念することが求められ、他の大学や企業等の常勤職は兼務できません。ただし、客員教授などの兼務は可能です。なお、本学の利益相反規程により、本学と関係する企業の社外取締役などは制限を受ける可能性がありますので、ご相談ください。

## 7. 応募方法

以下の書類を送付先住所まで郵便または e-mail でご送付ください。

### (1) 本人応募の場合

①カバーレター、②履歴書と職務経歴書、③所信表明文(A4版1枚、英語もしくは横書き日本語。パソコンで作成)、④推薦者がいる場合は推薦レター(自由書式)または照会先

### (2) 推薦の場合

①カバーレター、②本学所定の候補者推薦届出書(5名以内の推薦者及び推薦文)

\* 推薦の場合、書類審査を経た後、ご本人の応募の意思を確認します。

### (3) その他

①本人応募・推薦ともに、カバーレター内に英語および日本語の運用レベルを明記してください。

②選考が進んだ場合、追加の書類を要請する場合があります。

③応募締め切りは、本人応募、推薦とも、2020年8月31日です。

## 送付先&問い合わせ

〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

立命館アジア太平洋大学 アドミニストレーション・オフィス(柳川、北村)

TEL: 0977-78-1112 E-mail: apuadmin@apu.ac.jp

以上